

2024_0729「地上のアカゲラ（動画）」日々の理科 3644号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

アカゲラはキツツキの仲間です。木の幹に「縦の姿勢で」留まり、幹の上へ上へと登っていきます。普通の小鳥のように、幹から横に伸びている枝に留まることは稀です。ましてや、スズメやツグミのように地上に降りることはめったにありません。ところが、ある「事件」が起きると、アカゲラは必ずと言ってよいほど地上に降りて、忙しく活動を始めます。

その「事件」とは、「イノシシの群れの来襲」です。イノシシは通常群れで活動します。今の時期、多くの群れは親のイノシシに「ウリ坊」を卒業したばかりの若いイノシシという構成です。そのイノシシが、真夜中に私の山荘の裏庭にも定期的に現れるのです。目的は「地面を掘る」ことです。裏庭のあちこちの地面を、強い鼻先で徹底的に掘り返すのです。目的は地中の小動物…特にミミズを掘って食べることです。

朝になると、裏庭の地面は、イノシシが掘った穴で荒れ果てていることがあります。そこにアカゲラが来るのです。イノシシが「耕した」地面から、おこぼれのミミズを探しているのです。ミミズは野鳥にとってご馳走なので、アカゲラ以外にもツグミなどの野鳥も来ますが、アカゲラが一番強く、徹底的に追い払っていました。なかなか見られない行動だったので、おもしろい動画が撮れたと思います。

(2024年7月中旬／北軽井沢)

